

新年ご挨拶

戸沼岩崎建設株式会社 代表取締役社長 戸沼 淳
あけましておめでとうございます。



昨年は、能登半島地震の発生から始まった波乱の年となりました。被災地では交通、宿泊の便の悪さや人手不足などが重なり、復興は遅々として進んでいないのが現状です。国としての関与が必要とされるようですが、政権の混乱からあまり機能していないように感じています。

政治の面では、2024年は世界的な選挙イヤーといわれていて、米国・英国では政権が交代し、日本を含む民主主義国家7か国で与党が議席を減らしています。格差や生活苦を要因にポピュリズムが台頭しており、世界で既存の政治体制への反発が広がっています。弱い与党が政策の推進力を失う事例は、過去の事例からも見られており、経済や安全保障にも影を落とす危険があります。

こうした対立を企業に置き換えてみますと、企業と働き手、労使の信頼関係が崩れているのではと思います。今年は中小企業家同友会の「労使見解」の発表から50年目の年になります。労使の信頼関係こそが企業発展の原動力であるという考え方です。当社は昨年創業90周年を迎えましたが、100年 企業を目指すうえで非常に大切なことだと考えております。皆さんには労使の関係に限らず上司や部下、同僚、顧客との間でも相手の立場を尊重したコミュニケーションと信頼関係の構築にご尽力をお願いいたします。

人手不足や残業規制等、解決すべき課題は多くありますが、新聞で面白記事を見つけました。「ローソンで海外にいる従業員がオンライン活用で国内店舗の接客をする取り組みを始める」というものです。アバターを利用してセルフレジの使い方などの声かけをするといったことを想定しており、時差を考慮した深夜業務の負担軽減や人手不足の解消につながりそうだと書かれています。とてもユニークで柔軟な取り組みだと思えます。当社においても、いろいろなアイデアを持ち寄り、困難な状況を乗り越えてまいります。

今年の干支は、『乙巳（きのと・み）』になります。復活と再生を意味し、努力や準備が実を結び始める可能性が高い年とされています。



私事ですが、今年、私は還暦を迎えます。干支が1周して今年はまだ新しいスタートの年だと思っています。そして、本日ここに、皆さんと一緒に新しいスタートを切れることに感謝を

安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
令和 7年 2月 12日
<http://www.tonuma.com/>
第 268 号

向春号

するとともに、皆さんの努力が実を結びますことを祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(1月6日朝礼 社長年頭挨拶)

～ 補足説明 ～

「労使見解」とは「中小企業における労使関係の見解」の略称で、太平洋戦争終戦後の復興を担った中小企業経営者のさまざまな挑戦や運動等をルーツにする中小企業家同友会全国協議会が、1969年の創立以来、中小企業経営者の自主的な学び合いと議論、そして、経営実践での検証等を経て、1975年に発表しました。

「労使見解」は8項目から成り立っていますが、全体から学ぶことは次の4点にまとめることができます。

第一には、経営者の経営姿勢の確立です。経営者はいかなる場合も経営責任を他に転嫁してはいけません。経営がよくなるのも、悪くなるのも経営者の責任であるとの姿勢を堅持すること。そのことが社員との信頼関係を確立する基礎となるとしています。第二には、経営指針（経営理念、経営方針、経営計画）の成文化と全社実践の重要性です。第三には、社員を最も信頼できるパートナーと考え、高い次元での団結をめざし共に育ちあう教育（共育）を重視していることです。第四には、経営を安定的に発展させるためには、外部経営環境の改善にも労使が力をあわせていこうということです。

参考資料；中小企業家全国協議会編集・発行
「人を生かす経営」

渡島・檜山地域の労働災害発生状況(令和6年速報値)

渡島・檜山地域における令和6年の労働災害発生状況（速報値）は、全産業の休業4日以上労働災害が706人で、令和5年に比べ71人減少しました。一方、死亡労働災害は土木工事1人、建築工事1人、電気工事1人、製造業1人、農業1人、林業1人の6人が亡くなり、令和5年と比較して3人増加しました。また、全道の建設業でも死亡労働災害が他の産業に比べて数多く発生し、17人が亡くなっています。戸沼岩崎建設では令和6年中に労働災害は発生していません。

今、「北海道冬季ゼロ災運動」が展開中です。ルールや作業手順を遵守し労働災害防止に取り組んでまいります。



建設業年度末労働災害防止強調月間(3/1~31)

例年、年度末は完成時期を迎える工事が増加し、さまざまな作業が輻輳して繁忙度が増し、工事関係者の注意力が低下しやすい時期です。店社パトロールの強化や作業手順書の遵守徹底等に努め、無事故・無災害で新年度を迎えましょう。

1. 経営トップ等による年度末現場点検の実施。
2. 墜落・転落災害の防止。
3. 建設機械・クレーン等災害の防止。
4. 倒壊・崩壊災害の防止。
5. 飛来・落下による公衆災害の防止。
6. 交通労働災害の防止。
7. 火災・爆発等災害の防止。
8. 転倒災害の防止。
9. 不安全行動による災害の防止。
10. 安全衛生教育の推進。
11. 職業性疾病の防止。
12. 化学物質に関するリスクアセスメントの実施。
13. 現場におけるメンタルヘルス対策の推進。
14. 健康障害防止対策の充実。



令和6年度後期 ISO内部監査

当社はISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(労働安全衛生)の要求事項に従って必要なプロセス及び相互作用を含む統合マネジメントシステムを職員が監査員を務め、年2回内部監査を行っています。職員同士が互いの施工活動を監査することでISO規格への理解を深めると共に自らの施工活動で不十分な点を見つけ出すのに役立っています。



栄海岸津波・高潮対策工事
(函館市)



栄海岸津波・高潮対策工事
(函館市)

ご紹介 営業部 笹原 忍さん



笹原忍さんは2月1日付けで戸沼岩崎建設に入社しました。30年余り、建設業界で仕事をされ、1級土木施工管理技士の資格もお持ちです。当社では営業事務の仕事をお軸に幅広く活躍が期待される即戦力です。「心機一転、皆様のお力を借りながら精進して参ります」と笹原さん。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。